

2020 年 12 月 26 日～28 日 南アルプス日向八丁尾根～甲斐駒ヶ岳

メンバー；L 谷内、野中

強い寒波襲来予報のため昨年に引き続き北アルプスでの越年は中止とし天候が持つであろう 12/26～28 で南アルプス北部の日向八丁尾根から甲斐駒ヶ岳に行ってきました。雪は少ないもののノントレース状態の中どっしりと登りごたえのある山行を楽しんでくることができました。

12/26 快晴

AM5 時茅野発 - 5:45 竹宇駒ヶ岳神社駐車～6:10 まだ暗い中ヘッドラの灯りのもと出発 - 前夜にうっすらと積もった新雪を踏みながら 7:25 矢立石登山口 - 9:25 日向山。白ザレ越しに駒本峰が随分遠くに眺められる - 11:40 駒石 - 13:30 大岩山。10 年前の秋に来た時には下降路が未整備でロープ下降を余儀なくされた所であったが、その後鎖・ハシゴが設置され一般路扱いになったよう。ハーネスを身に着け下降に移る。真新しい鎖の連続であるがオーバーミトンごしでは滑りやすくセルフを架け替えながらの下降は時間を要し最後のハシゴを下り 1 時間弱かけて 14:40 コルに降り立つ。大変なルート整備作業に感謝である。このちょい先の樹林内で 15 時テンバ設営。風のため雪飛ばされ気味であったが各人 2ℓ ずつ水を背負い上げたので助かる。テントに入り一息つきビールが身体の隅々までしみわたる。

12/27 晴れ

AM4 時起床 - 5:40 発。まだ暗いが左手が切れ落ちた八丁尾根は基本稜通しに進むのでルート取りはあまり悩まずに済む。ちょっとした岩場、ハシゴ場を越え 8:20 岩峰たる烏帽子岳着。6 年前に冬期縦走を行った鋸岳が目の前で、駒本峰はまだ遠い。三ツ頭近辺で使うかと思って背負い上げたわかんは出番なし。9:37 六合石室分岐。森林限界を越えてからの風が心配であったがそれ程でもなく助かるが雪の少ない岩場のアイゼン歩行はこたえ 12 時によやくのこと駒本峰に着き駒初見参の野中君とかたい握手をかわす。ほとんど無風の山頂からは日向山～大岩山～烏帽子岳とたどってきたコースがぐると見渡され感慨深い。大休止の後黒戸尾根を下降し 13:30 七丈小屋につき今宵の泊り場をどうするかしばし思案。時間的にはまだ早く五合まで下ることもできるが水づくり用の雪

が得れるかどうか微妙なことと、何よりも疲れがたまっていたことより水のも
らえる七丈テンバ泊に決定としゆったりとビールで脱水補正に努める。

12/28 南岸低気圧の影響で夜半からやや湿っぽい降雪
AM4 時起床 - 5 : 30 下山 - 10 時駒ヶ岳神社帰着